

市営大垣住宅入居者面談について

1. 面談の趣旨

建替えを行わない方針としたことや、住み替えについては、各自の生活のペースで考えていただくことができ、市から期限を設定はしないこと、市営住宅への転居が希望であれば、空き情報を提供すること、生活に必要な修繕は行っていくなどをあらためて説明し、また、本市の説明に対するお考えや、住宅へのご要望をお聞きすることにより、施策に反映させようとするもの。

2. 実施期間、実施方法等

(1) 実施期間

平成25年3月29日から4月10日

(2) 実施方法等

建築住宅課職員1～2名で各世帯を訪問し、口頭による聞き取り

面談時間は、延べ600分、18回訪問（1回あたり平均30～40分）

3. 面談における質問内容について

- (1) 建替えをしないことについて、どのようにお考えですか
- (2) この地で又は他の地でのお住まいについてどのようにお考えですか
- (3) 雨漏りや、シロアリが出たりすることがありますか
- (4) 住宅についての不具合など日ごろからお感じのことはありますか

4. 質問に対する入居者のお答えの内容について（数字：回答世帯数）

(1) 建替えをしないことについて

- ・建替えについては期待していたが、約束にこだわりはない(5)
- ・建替えしないことについて何のこだわりもない(5)
- ・建替えについては期待していたが、市が決めたことだから諦めている(2)
- ・建替えについては約束だと思っており、不満はあるが、絶対とは言わない(2)
- ・木造でもいいから新しい住宅に住みたいが、家賃が上がるのは困る(1)
- ・以前転居を考えたが、建替えがあるからと取止めた(1)

(2) 住み替えについて

- ・この地に愛着があるので、長く住めることが一番(7)
- ・淀江地内に墓があり、淀江から離れることはできない(2)
- ・他所から転居してきた者としては、この地以外に親族・友人がいなく縁がないので、この地を離れるとまた一から人間関係を築いていかなければならない。今まで苦勞して築いてきたものを失いたくはないので、淀江から離れることはできない。(2)
- ・漁業をしているので、港まで歩いていけないような場所へは通勤の費用もかかる。転居は生活費が上がるだけで何のメリットもなく、ここに居る以外の選択肢はない(2)
- ・将来は淀江地内に家を建てた身内宅に転居する(1)
- ・家族の就学終了までは、今の住宅に住みたい(1)
- ・建替えか、でなければ最期までこの地に住み続けるのが自分の考え(1)
- ・転居するなら淀江地内がいい、白浜住宅であれば移ってもよい(1)
- ・東日本大震災のことを考えると、白浜住宅のような海の近くに移るのは抵抗がある。(1)
- ・転居するとしても、現状維持が前提(1)
- ・転居については、他の自治会がどう考えているかということが気になる。例えば、住人が少なくなると、淀江商店街から客が減るのではと心配(1)
- ・元々転居するつもりだったので、いい場所が見つかれば転居する(1)
- ・説明会后、市営住宅を見に行ったらマンション形式のところは抵抗がある(1)
- ・家族の体調が悪くトイレは様式で、1階を希望する。この地に愛着があり名残惜しいが、淀江にはこだわらない(1)
- ・病気がちで通院と買い物の利便性が悪いところには移れない(1)

(3) 住宅の不具合、要望について

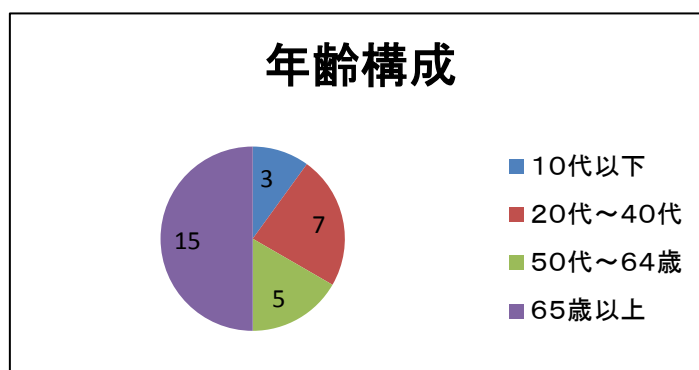
- ・玄関扉が腐食で穴、開閉が困難(6)
- ・空住戸の入居者自らが増築した部分は撤去して欲しい(2)
- ・トイレの床が地震以降下がっている(2)
- ・浴室の建具の木枠に虫害による穴が開いている(2)
- ・外壁のひび割れからの雨のしみ込みで室内が湿る(1)
- ・外壁にひび割れがあるが、耐震性には問題がないか不安(1)

- ・鉄製サッシの開閉に力が要り、強い力で閉めてガラスが割れた(1)
- ・押入れの床に湿気がたまる(1)
- ・下水道に接続し、トイレを水洗化してはどうか(1)
- ・台所の排水の溢れ、給水栓の漏れ、扉の取手が動かない(1)
- ・外部にコンセントがなく、洗濯機の電源を室内から取っていて不便(1)
- ・住宅の不具合は、できるところは自分でやる。自分でできないところは市にお願いをしている(1)
- ・空住戸の倒れたテレビアンテナを撤去して欲しい(1)

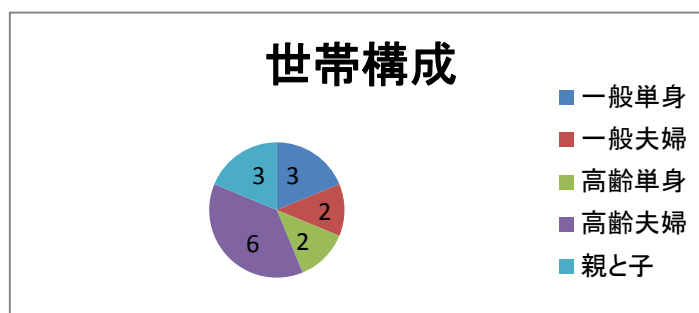
以上の結果を集計表にまとめた(4ページ)

5. 入居者の属性に関するデータ

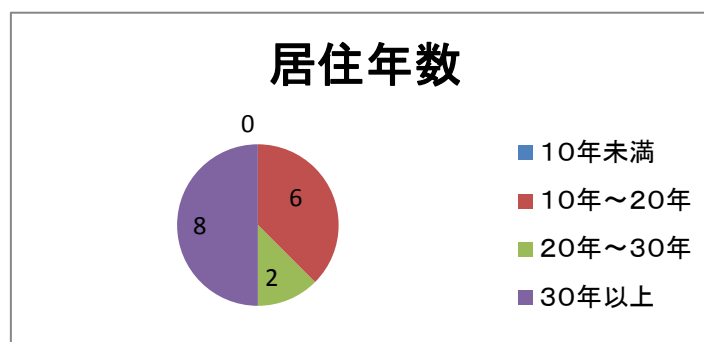
世帯数：16 入居者数：30 建設年度：S47～S48 住戸タイプ：2DK、2K コンクリートブロック造平屋



65歳以上が半数。
50歳以上を含めると2/3を占め、高齢化が進んでいる。



高齢夫婦が最も多く4割弱、高齢単身を含めると半数を占める。
また、港との立地性がよく、漁業従事が3世帯ある。



30年以上が半数で、昭和47年の建設当時から居住者見られる。既に新規募集を停止しており、10年未満はゼロとなっている。

5. 市営大垣住宅入居者面談集計表

入居世帯数:16

I. 建替えについて	
1. 建替えの実施が不可欠	0
2. 建替えは不可欠ではない	16
建替えに期待をしていたがこだわりはない	7
建替えるに越したことはない。次は大垣だと思っていた。合併の約束と思っている。建替えをしないのなら最期までここに住み続けたい	1
特にこだわっていない	5
元々転居するつもりだったので、こだわりはない	1
期待はあったが、市が決めたことだからあきらめている	2
II. 現在地居住について	
1. 転居は不可能	8
できるだけ長く現在地に住み続けたい	3
漁業なので、港への通勤に要する費用、利便性の悪化等、現在地以外に選択肢がない	2
淀江で生まれ、身内も皆淀江	1
体に不安がある	1
都会から移住してきて、苦労して地元根付いた。今の人付き合いが何よりも大切	1
2. 転居は可能	8
淀江地内	4
近くでいい場所が見つかれば市営住宅以外に転居したい	1
条件が合えばどの市営住宅でもよい	1
できるだけ住み続けたいが、条件・状況によってはやむをえない	1
家族の就学終了までは住み続けたい	1

(H25年4月)